

最高賞のおもてなしで
お客様を笑顔に



かなが のあろ 賀長 乃彩羅さん プロフィール

昨年4月から、宇都宮東武ホテルグランデでホテルサービスを提供するホテルリエとして勤務。同年12月に、栃木県代表として第59回技能五輪全国大会・レストランサービス職種に出場。

昨年12月に東京都で開催された「第59回技能五輪全国大会」。本大会のレストランサービス職種に賀長乃彩羅さんが出場し、初挑戦ながら最高賞の金賞と厚生労働大臣賞を受賞しました。

技能五輪は世界に羽ばたく若手の登竜門といわれ、23歳以下の青年技能者へ技能に触れる機会や目標を提供することを目的に、美容や機械の組み立てなど、42職種に分かれ技能レベルを図ります。賀長さんが出場したレストランサービス職種は、実際のレストランさながらの状況で、テーブルセッティングからお客様を見送るまで、いかに手際よく正確で美しいサービスを提供できるかを競います。

賀長さんは、昨年4月に入社した新人ホテルリエ。本格的なサービスを学び始めてからわずか8カ月での快挙に「優勝できるとは思っていなかったの信じられなかった」と振り返ります。

普段は仕事をしながらも、空き時間を利用して、過去の大会で受賞経験がある先輩や支配人からの指導を受け、練習を重ねてきた賀長さんは「今回は力試し、今後の経験のためと思っていた」と話します。しかし、大会の1カ月ほど

前に訪れた美容室で多くの大会への出場歴を持つ美容師に「やるからには上を目指しなさい」と激励され奮起し、残りの期間の練習方法を見直すことを決めました。

練習方法を見直す中で「自分自身を見つめ直さなければ成長できない」と考えた賀長さんは、「だめな自分を見るのが怖くて、動画を撮られることが苦手だった」という過去の自分に打ち勝ち、サービスを提供する自らの姿を撮影、何回も繰り返し見ては修正を重ねました。その取り組みが功を奏し、1カ月で見違えるほど美しく流れるような動作を習得することができました。伊藤邦夫支配人は「最後の追い込みは本当に素晴らしかった」と成長に目を細めます。

賀長さんは、家族で旅行したときのホテルリエの笑顔が忘れられず、常に笑顔でいられるようなホテルリエになりたいと、この業界に飛び込みました。普段のサービスでも「お客様に頼まれる前に自ら動くよう意識している」と、にこやかな表情で話します。

自らの壁を乗り越え成長につなげた賀長さん。より良いおもてなしを追求し、今日も輝く笑顔でお客様を見送ります。